



港区立高松中学校 学校だより<第2号>

令和3年5月7日 校長 鈞持 利行

創立1949年(昭和24年) <高松中生のあたりまえ>推進校 港区高輪1-16-25

集団の力

副校長 鈴木 格也

4月25日に3度目の緊急事態宣言が発令され、今年のゴールデンウィークも部活動で友達と一緒に楽しく汗を流したり、家族そろってお出かけしたりすることができない状況でした。一日も早く、このコロナ禍から解放されて、発散できる日常生活を取り戻したいところです。

さて、学校は目的の達成に向けた集団をつくる場でもあります。学校目標を達成するための計画がたくさんあり、その実現のために、先生と生徒と一緒に生活し、活動していきます。これからは、体育大会の練習です。集団行動、学年種目、競争種目への取り組みなどを通して、生徒の頑張る心や協力する心、体力の向上について育成を図っています。その集団生活の大きなうねりの中に身を置きながら各学年としての自覚や意識によって、将来に必要な資質・能力を形成します。

1年生は、中学校生活に早く慣れようと一生懸命頑張っていることと思います。小学校の生活とは全く違った生活空間の中に身を置いて、毎日の変化の大きい生活を体験しています。そして、3年生がやたら大人に見え、熱心な姿が光ってカッコよく1年生の目に映っているかもしれません。生徒会・委員会活動、部活動、体育大会の練習などでリーダーシップを発揮している先輩のもとで、一緒に活動して心に何かを感じていることと思います。その何かが、「集団の力」が作用しているものです。それは、とてもいいことです。3年生も入学して来たときは、今の1年生と同じでした。2年間でこれだけ成長したということです。

学校は、循環しながら成長しているところです。人と人が触れ合いながら良い影響を及ぼし合って心が育ち、人間として成長して行きます。そして、その背景には先生方の日々の指導と関わりがあることは当然のことです。さらには、保護者の皆様が学校の方針を理解して、一緒に子供に向かい合っているという支援があってその力が作用するものです。

学校では、生徒会・委員会、学年・学級など生徒が、目的をもって活動する組織・集団があります。これらの集団の活動は、学校全体の力強い流れを生み出します。ですから、その集団・空間に身を置くことが、知らず知らずのうちに伸びていくことになります。そして、一人ひとりの良さが、結び合った集団ほど集団力が高まります。そこに「謙虚な心」が育つと弾力性のある集団が形成されます。

5月29日(土)の第2回高松体育大会では、みんなで作くり上げた“集団の力”を期待しています。

5月

6日(木)	心臓検診
7日(金)	生徒総会
14日(金)	中間考査
17日(月)	高松体育大会特別時程始
20日(木)	耳鼻科検診 高松交流ガーデン
25日(火)	高松体育大会予行練習
27日(木)	3年生 全国学力調査
29日(土)	高松体育大会

緊急事態宣言発令

Stop! コロナ COVID-19

マスクを着用	手洗い・消毒
毎朝 体温測定	距離を確保

緊急事態宣言発令中

～ 学校公開週間 4/19 (月) から4/24 (土) ～

学校公開週間ではお忙しいところ、ご参観いただきましてありがとうございます。全校で延べ122名の保護者の方々が年度はじめの生徒の活動状況をご覧いただきました。ご参観いただきました保護者の方々より感想などをお寄せいただき、今後の学校運営にいかしてまいります。



～ 生徒会朝礼 Teams オンライン放送 ～

緊急事態宣言が発令された翌日の26日(月)、学校では校長室から各学級に向けて、オンラインによる生徒会朝礼を行いました。生徒会長の話、校長先生より各専門委員長への委嘱状授与、高松体育大会実行委員長からのスローガン紹介、3年各応援団長からの決意表明がありました。



～ 学習用 ipad の活用状況 ～

1年生には学習用 ipad を使うためのアカウントが連休前に付与され、技術の授業では基本的な操作方法等の授業が行われました。自分のタブレットを友達に使わせないこと、自分の ID とパスワードを言わないこと、友達の ID とパスワードを使わないこと等、タブレットの利用ルールについても確認しています。いよいよ、全校で学習用 ipad を家庭に持ち帰って使うことができるようになります。学校では、教科によってデジタル教科書を使った授業が行われました。



～ 離任式 ～

30日(金)6校時に離任式が行われました。2,3年生は体育館で、1年生はオンライン放送で行いました。放課後には、離任された先生方にお別れの挨拶をしようと、多くの卒業生の来校もありました。

